サーバーワークス Amazon Connect スタートガイド



Table of contents:

- はじめに
 - 前提条件
 - 本ドキュメントのライセンス
- Amazon Connect へのログイン
 - ログイン方法
 - Amazon Connect 内でユーザーを管理するよう設定されている場合
 - 外部のIDプロバイダ(IdP)でユーザー管理するよう設定されている場合
- Amazon Connect スタートガイド エージェント版
- 1.ソフトフォンのご利用方法
- 1-1.ソフトフォン(CCP) 起動
- 1-2.ステータスの変更
- 1-3.着信(インバウンド)
- 1-4.発信(アウトバウンド)
- 2.管理者ワークスペース
- 2-1.コンタクトの検索
- 2-2.電話番号を確認したい
 - 通話中に確認
 - あとから確認
- 2-3.通話した内容(音声)を確認したい
- 3.クラウドコンタクトワークスペース(旧CCP+)について
 - CCPとクラウドコンタクトワークスペースについて
- Amazon Connect スタートガイド 管理者版
 - 概要
- 1.運用編
- 1-1.問い合わせ対応状況の確認
 - 問い合わせ対応状況をリアルタイムで確認する
 - リアルタイムメトリクス
 - リアルタイムメトリクスのグループ
 - リアルタイムメトリクスのフィルタリング
 - リアルタイムメトリクスの共有・ダウンロード
 - モニタリング機能
 - 問合せ履歴を確認する
 - 履歴メトリクス
 - 履歴メトリクスのグループ
 - 履歴メトリクスのフィルタリング

- 履歴メトリクスのスケジュール機能
- 問い合わせ対応状況を期間指定して確認する
 - コンタクトの検索
- 1-2.音声の確認
 - 通話音声をリアルタイムで確認する
 - 録音した通話音声をあとから確認する
- 2.設定編
- 2-1.ユーザー管理
 - ユーザーを追加する
 - ユーザーを削除する
- 2-2.ルーティングプロファイル管理
 - ユーザーのルーティングプロファイルを変更する
 - 新しいルーティングプロファイルを定義する
 - ルーティングプロファイルのキューを追加・変更・優先順位付けする
- 2-4.キュー管理
 - 新しいキューを定義する
- 2-4.クイック接続(転送先)管理
 - クイック接続で転送先を登録
 - キューに利用可能なクイック接続を登録
- 2-5.アウトバウンド管理
 - アウトバウンドの設定方法
- 2-6.電話番号管理
 - 新しい電話番号を取得する※この方法では日本の電話番号は取得できません
 - 電話番号をリリースする
 - 電話番号の取得申請を行う
 - 提出書類
 - 申請手順
- 2-7.営業時間管理
 - オペレーション時間の設定
 - オペレーション時間判定の仕様について
 - オペレーション時間のオーバーライド(祝日設定)
 - オーバーライド設定の仕様について
- 2-8.緊急時の問い合わせフロー変更方法
 - 設定方法
 - 通常時に戻す場合
- 3.弊社へのお問い合わせについて
- 3-1.サポートサイトについて

- 3-2.Backlogについて
- 3-3.プロジェクト終了後の AWS サポート範囲について
 - Amazon Connect の AWS サポートの範囲について
 - サポート範囲内
 - サポート範囲外
 - 調査のための情報取得依頼について
 - 調査で取得を依頼する情報の例
- 4.参考資料
 - AWS提供資料
 - サーバーワークス提供参考動画
- ご利用環境について
 - 対応ブラウザ
 - ヘッドセットについて
- 変更履歴



はじめに

本ドキュメントページは、Amazon Connect のご利用にあたり、よく使用される機能を抜粋してご案内する内容となっています。 詳細なご説明や最新情報のご確認には、公式の管理者ガイドを合わせてご参照ください。

• 公式ドキュメント: Amazon Connect 管理者ガイド

前提条件

本手順は特別な記載がない限り、Amazon Connect の標準機能、および標準ソフトフォンを想定した内容となっております。 個別のご要件対応に関する内容は含まれておりませんので、ご了承ください。

本ドキュメントのライセンス

© Copyright 2025 Serverworks Co., Ltd. All Rights Reserved.

本ドキュメントは、CC BY-NC-SA 4.0の下に提供されています。

免責事項:

このライセンスは、他の人の著作物や法的権利に影響を与える可能性があります。ライセンスの範囲内で の使用や再配布には注意が必要です。

Amazon Connect へのログイン

ログイン方法

ログイン方法は初期設定された認証方式により異なります。

Amazon Connect 内でユーザーを管理するよう設定されている場合

サーバーワークスより提供しているログイン情報を参照してログインしてください。

外部のIDプロバイダ(IdP)でユーザー管理するよう設定されている 場合

外部のIDプロバイダから Amazon Connect にシングルサインオンを行ってください。

Amazon Connect スタートガイド エージェント版

エージェントが使用する機能について、主要な操作方法をご説明します。

1.ソフトフォンのご利用方法

Amazon Connect で利用するソフトフォンは CCP (Contact Control Panel) と呼びます。

ソフトフォンの起動方法、および一般的なご利用方法についてご案内します。

1-1.ソフトフォン (CCP) 起動

1-1.ソフトフォン(CCP) 起動

Amazon Connect のソフトフォン(CCP)は管理画面から開くことができます。

右上の問い合わせコントロールパネルをクリックするとCCPが起動します。



初回のみ「許可しますか?」と何度か表示されるのでOKしてください。

CCPは起動すると右図の Offline 画面になります。







ようこそ



□ クイック接続

数値パッド

電話に出る準備ができたら画面上部の Offine をクリックしたのちに、ステータスを Available に変更してください。

1-2.ステータスの変更

CCP上部のドロップダウンから、オペレーターのステータスを変更することができます。

ステータスに応じて電話応答の可否が決定します。



【ご注意ください】

CCP終了時はステータスを必ず `Offline` に変更してください。 変更せず終了すると、`Available` の状態(=着信可能)が維持されてしまいます。 1-3.着信(インバウンド)

1-3.着信(インバウンド)



ステータス	CCP画面	操作
		【通話を終了】※⑤ ・ 通話が終了します。(通話終了後、アフターコールワーク へ遷移)
アフターコ ールワーク (通話後処 理)	◆ Available ・81 ⑤ 0017 779-コールワーク ■ 機先を催じる	【アフターコールワーク】 ・ 応対後の入力作業等を行っている間のステータスです。 (通話が終了後自動的遷移) ・ この画面の間は電話を受信しません。 【連絡先を閉じる】 ・ 電話に出る準備ができたら 連絡先を閉じる をクリックしてください。 ・ ステータスがAvailable状態に戻り、着信可能状態となります。
不在着信	本 Available ・ は ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	【不在着信】 ・入電後、以下の操作を行うと不在着信となります。 ・通話を受信 ボタンをクリックせず20秒放置 ・通話を却下 ボタンをクリック ・不在着信状態は、Offlineと同様に入電を受け付けないステータスとなります。 ・ステータスがAvailableの状態で、連絡先を閉じるをクリックすると、入電が受け付けられる状態となります。

「着信」についてよくあるQA

- Q. Amazon Connectで一斉着信はできますか?
- A. できません。Amazon Connectは「順次着信」する仕様となります。
- Q. 複数のオペレーターがAvailableの場合、どのような条件で着信しますか?
- A. Available状態の時間が最も長いエージェントから順次着信します。
- Q. 通話を却下したり応答せず放置した場合はどうなりますか?
- A. オペレーターは不在着信となり、対応可能(Available)な他オペレーターへ電話がまわります。

1-4.発信(アウトバウンド)

1-4.発信(アウトバウンド)







2.管理者ワークスペース

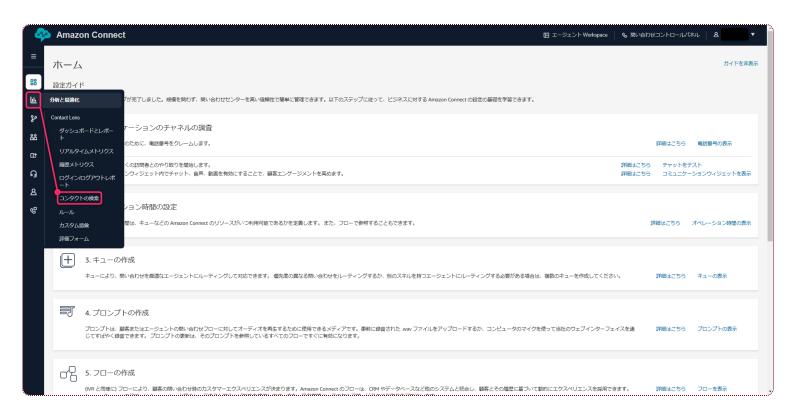
管理者ワークスペースで利用できる機能のうち、エージェントがよく利用する機能をご説明します。

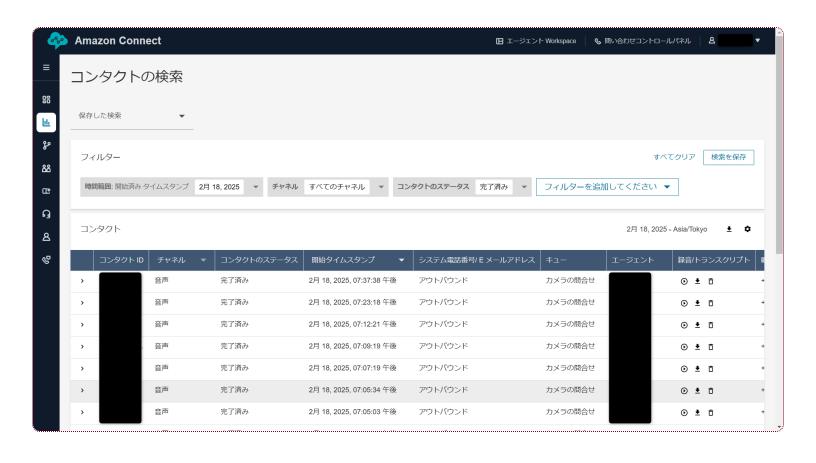
2-1.コンタクトの検索

ホーム画面のサイドメニューからコンタクトの検索を選択し、コンタクト検索画面を表示することが出来ます。

コンタクト検索画面では、お客様との過去のやり取りを確認することが出来ます。

次のページで利用シーン別に、よく利用される操作を説明します。

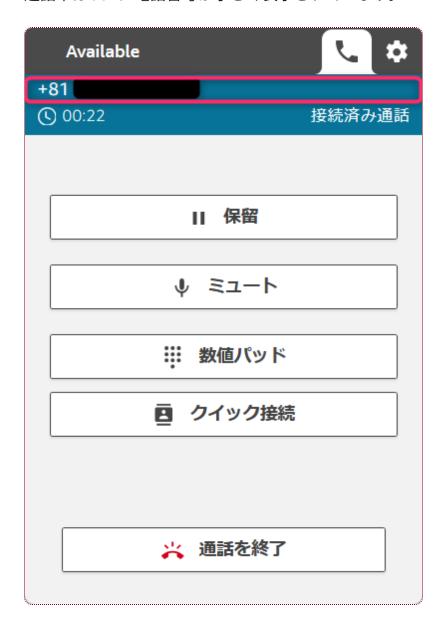




2-2.電話番号を確認したい

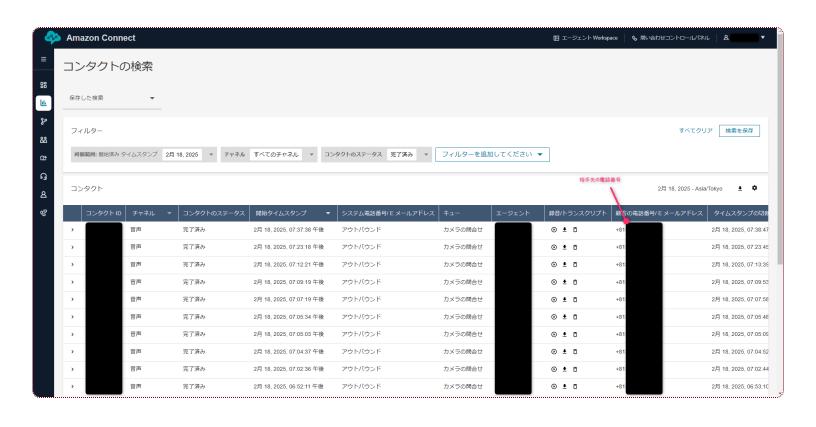
通話中に確認

通話中はCCPに電話番号が小さく表示されています。



あとから確認

コンタクトの検索から通話を検索してください。

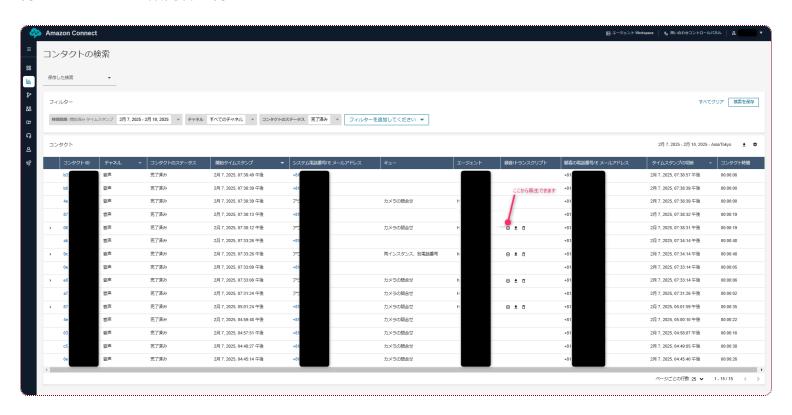


2-3.通話した内容(音声)を確認したい

2-3.通話した内容(音声)を確認したい

Connectメニューコンタクトの検索から通話を検索してください。

再生ボタンから通話内容を再生できます。



3.クラウドコンタクトワークスペース(旧CCP+)について

クラウドコンタクトワークスペース(旧CCP+)は、サーバーワークスのお客様に無償で提供するカスタマイズソフトフォンです。

Amazon Connectのソフトフォンに汎用的な機能を追加しています。

クラウドコンタクトワークスペースの機能については別途クラウドコンタクトワークスペースのドキュメントまたはクラウドコンタクトワークスペース画面下部のリンクからご確認ください。



CCPとクラウドコンタクトワークスペースについて

ソフトフォンの利用方法は変わりません。

クラウドコンタクトワークスペースも本ドキュメントと同じ操作感でご利用いただけます。

CCPとクラウドコンタクトワークスペースはどちらをお使いいただいても構いません。

ただし、設定内容が干渉する可能性があるため、2つのソフトフォンを同時に立ち上げた利用は推奨しません。

A

Amazon Connect スタートガイド 管理者版

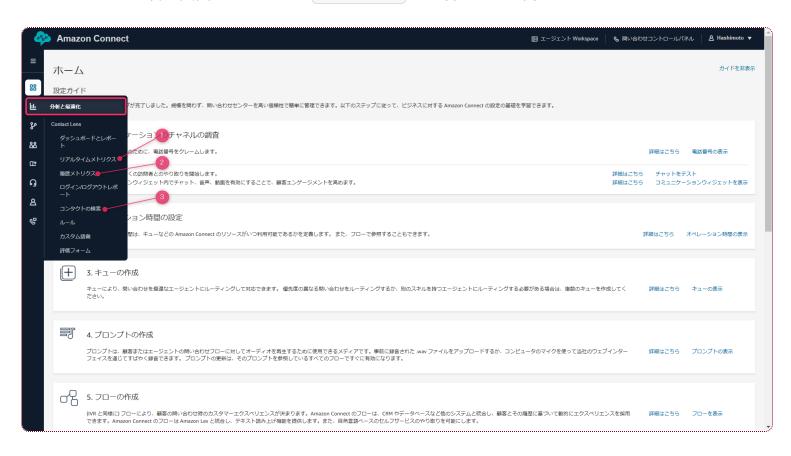
概要

管理者およびスーパーバイザー(SV)が使用する各種画面の利用方法についてご説明します。

1.運用編

主にスーパーバイザー(SV)が運用時に利用する機能についてご説明します。

Amazon Connect管理画面の左メニュー 分析と最適化 から各ページを開きます。



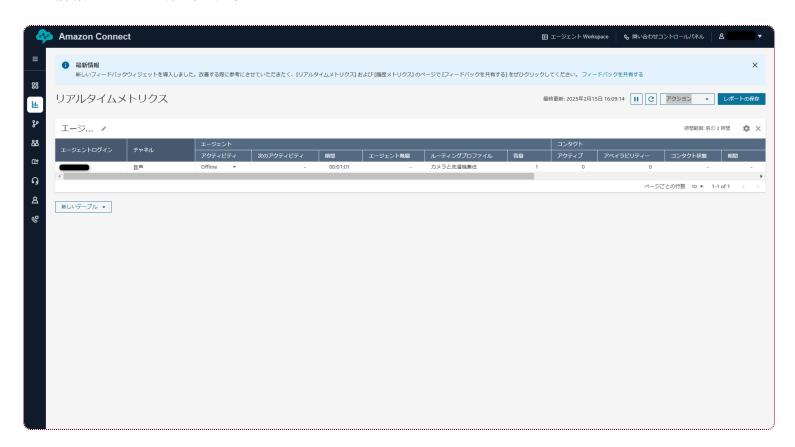
1-1.問い合わせ対応状況の確認

問い合わせ対応状況をリアルタイムで確認する

リアルタイムメトリクスでリアルタイムの問い合わせ状況を確認できます。

リアルタイムメトリクス

コールセンターのリアルタイム情報の統計を確認したい場合にご活用いただけるページです。 リアルタイム情報がテーブル形式で表示されます。

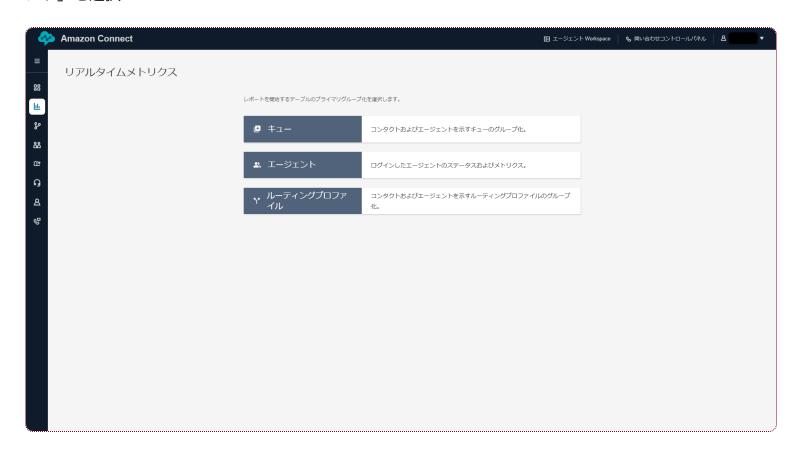


リアルタイムメトリクスのグループ

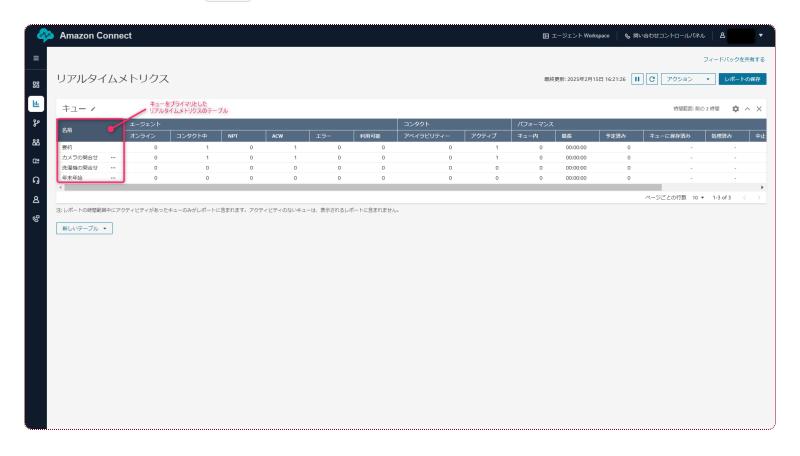
リアルタイムメトリクスのテーブルのプライマリグループが選択できます。 グループの種別は以下となります。

- キュー
- エージェント
- ルーティングプロファイル

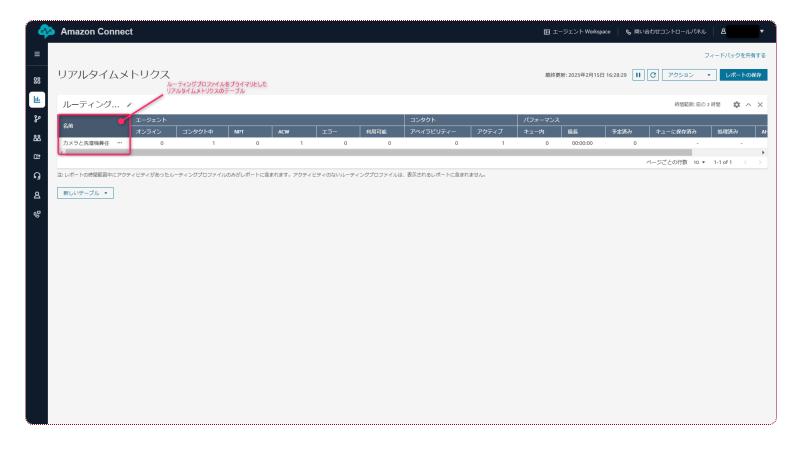
(例) エージェント(オペレーター)を軸としてリアルタイムメトリクスを確認したい場合は「エージェント」を選択



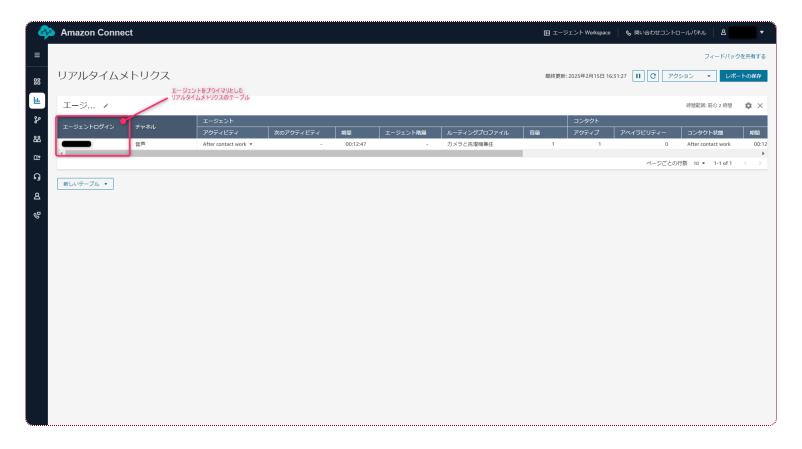
リアルタイムメトリクス キュー を選択した場合



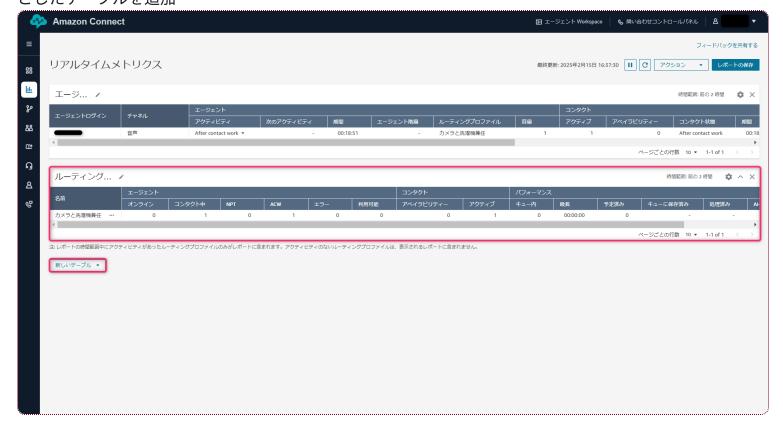
リアルタイムメトリクス ルーティングプロファイル を選択した場合



リアルタイムメトリクス エージェント を選択した場合

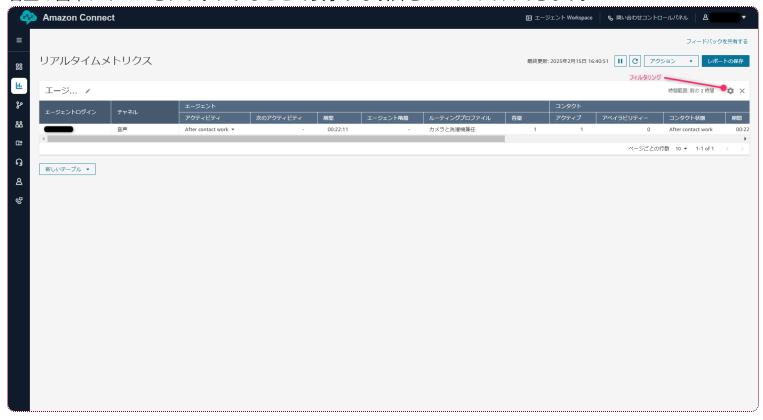


- ※グループごとのテーブルは、新しいテーブル▼から他グループのテーブルを追加することができます。
- (例) リアルタイムメトリクス「エージェント」のページに「ルーティングプロファイル」をプライマリ としたテーブルを追加

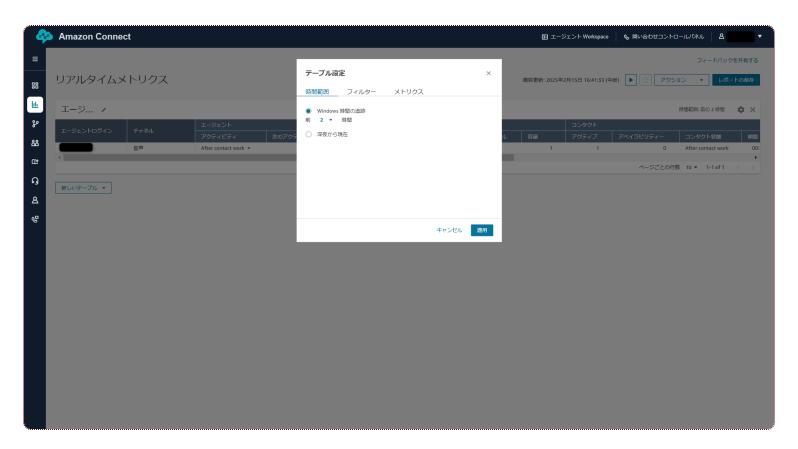


リアルタイムメトリクスのフィルタリング

右上の歯車アイコンをクリックすることで表示する項目をカスタマイズできます。

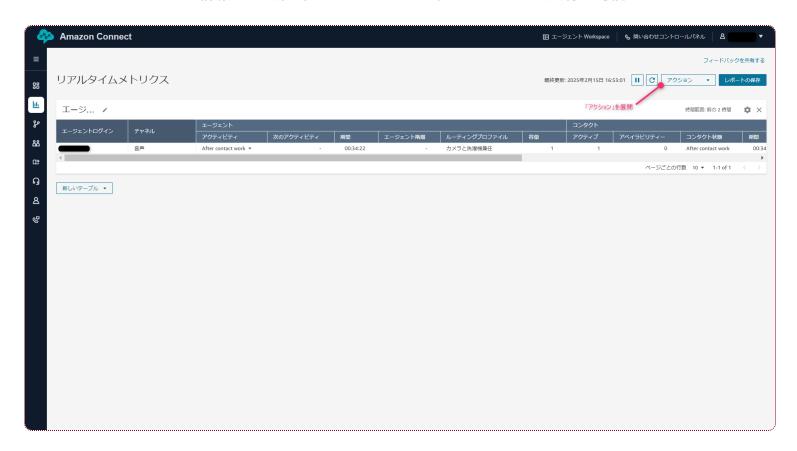


フィルタリングは、メトリクスの時間範囲の指定や テーブルの表示項目の追加・削除などができます。取得できるメトリクス項目については、「リアルタイムメトリクスの定義」をご参照ください。



リアルタイムメトリクスの共有・ダウンロード

リアルタイムメトリクス情報をCSV形式でダウンロードや他のユーザーに共有が可能です。



CSVダウンロード



レポートを共有



※共有するためには 名前を付けて保存 からレポートを保存する必要があります。

モニタリング機能

リアルタイムメトリクスの画面から、顧客とオペレーターの会話のモニタリングができます。 通話中のエージェント On contact 状態の横の目のマークを押下することでリアルタイムモニタリングが可能



モニタリングの詳細手順は、以下のドキュメントをご参照ください。

「ライブ会話を聞く、またはライブチャットを読む」

ミニマムスタートプランではセキュリティプロファイルSV・Adminを付与されたユーザーが、モニタリング機能を利用できます。

モニタリング機能利用のための権限については、以下のドキュメントをご査収ください。

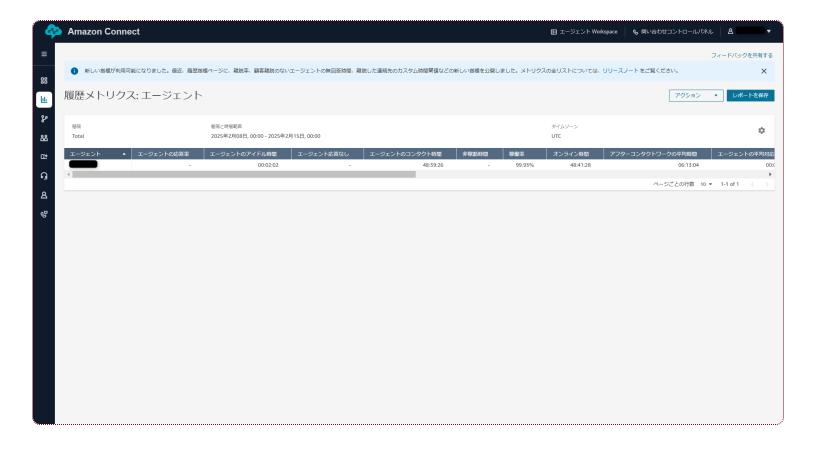
「ライブ会話を監視するためのアクセス許可の割り当て」

問合せ履歴を確認する

履歴メトリクスでコールセンターの履歴情報の統計を確認できます。

履歴メトリクス

履歴情報がテーブル形式で表示されます。

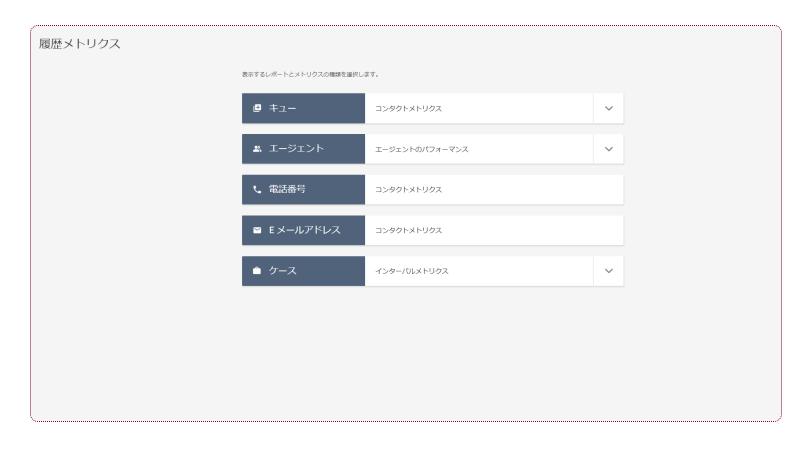


履歴メトリクスのグループ

履歴メトリクスのテーブルのプライマリグループが選択できます。 グループの種別は以下となります。

- キュー
- エージェント
- 電話番号
- Eメールアドレス
- ケース

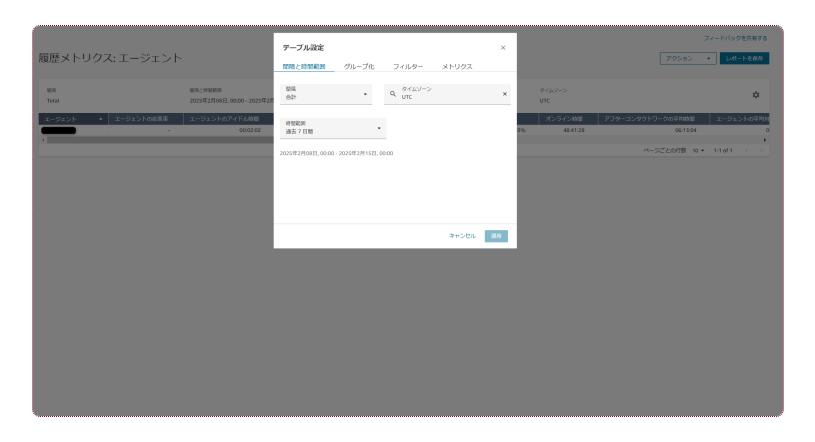
(例) エージェント(オペレーター)を軸として履歴メトリクスを確認したい場合は<mark>エージェント</mark>を選択



履歴メトリクスのフィルタリング

フィルタリングは、メトリクスの時間範囲の指定や テーブルの表示項目の追加・削除などができます。取得できるメトリクス項目については、「履歴メトリクスの定義」をご参照ください。





履歴メトリクスのスケジュール機能

履歴メトリクスは、事前設定したスケジュールにあわせてメトリクス情報をS3に保存させることができます。

下記リンクから、「履歴メトリクスレポートをスケジュールする方法」をご参照ください。

Amazon Connect で履歴メトリクスレポートをスケジュールする

※リアルタイムメトリクス同様CSV形式でダウンロードや他のユーザーに共有も可能。

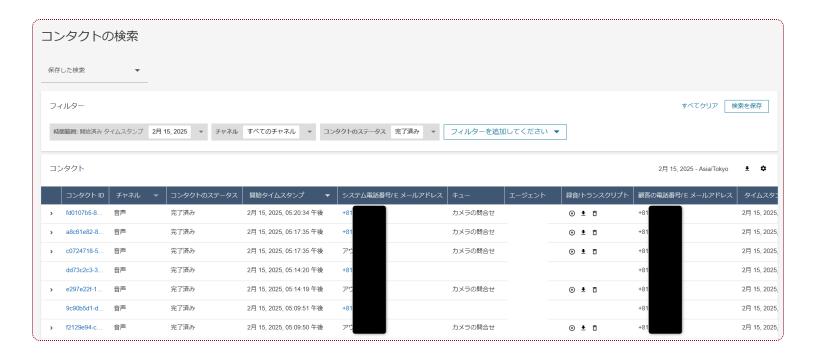
問い合わせ対応状況を期間指定して確認する

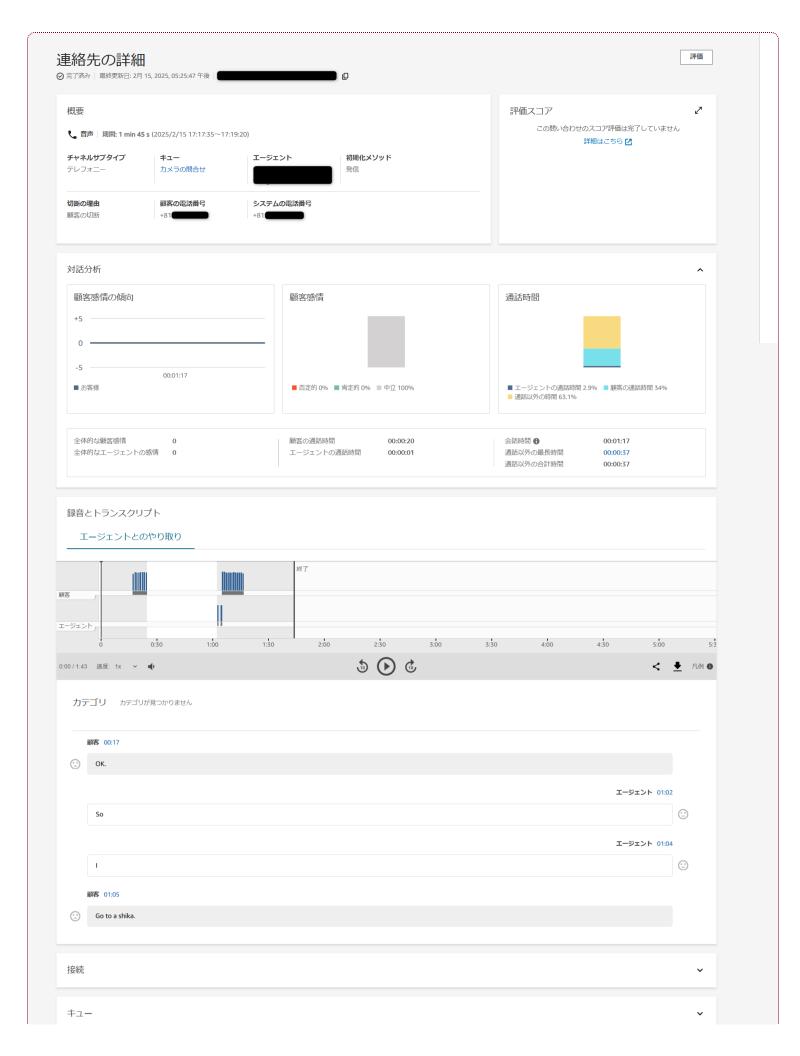
コンタクトの検索で過去の問い合わせ状況を確認できます。

コンタクトの検索

1つの通話ごとの情報を確認したい場合にご活用いただけるページです。

- コンタクトの検索ページは、1通話=1レコードとして、通話情報を管理します。
- コンタクトIDを押下すると、1通話の詳細情報(連絡先の詳細)を開くことができます。







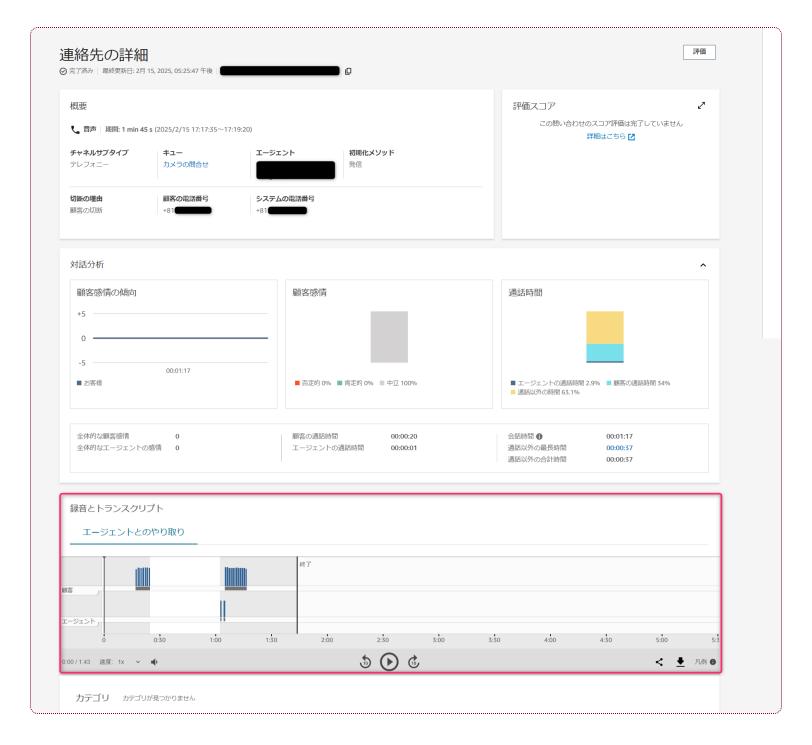
コンタクトフローで <mark>通話記録動作の設定</mark> を有効化すると、設定されたコンタクトフローを通話の録音が とれます。

※ミニマムスタートプラン標準では 通話記録動作の設定 が含まれています。(要件に応じて設定変更可) 通話録音の記録は、以下の方法で確認可能です。

①コンタクトの検索 検索結果一覧



②コンタクトの検索 連絡先の詳細ページ



③Amazon Connectインスタンスに設定されたS3 Bucket S3 Bucketからwavファイルをダウンロード

• バケット名: {Amazon Connectインスタンス名}-log

保存先パス: connect/{Amazon Connectインスタンス
 名}/CallRecordings/year/month/day/xxx.wav

連絡先IDをクリックすることで問い合わせ内容の詳細が確認できます。 CSVで検索した問い合わせ情報をダウンロードすることもできます。

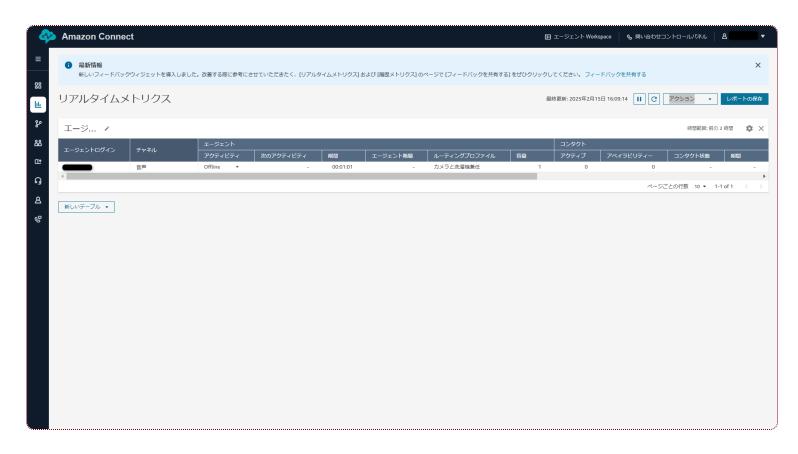
1-2.音声の確認

通話音声をリアルタイムで確認する

リアルタイムメトリクスでリアルタイムの通話を確認できます。

- リアルタイムメトリクス > エージェント からAmazon Connectにログインしているエージェント※のリアルタイム状況一覧を表示できます。
- エージェントのステータスが On call は通話中のステータスとなり、目のマークが表示されます。
- 目のマークをクリックすると、リアルタイムの音声を確認することができます。(詳細:1-1.問い合わせ対応状況の確認 モニタリング機能)

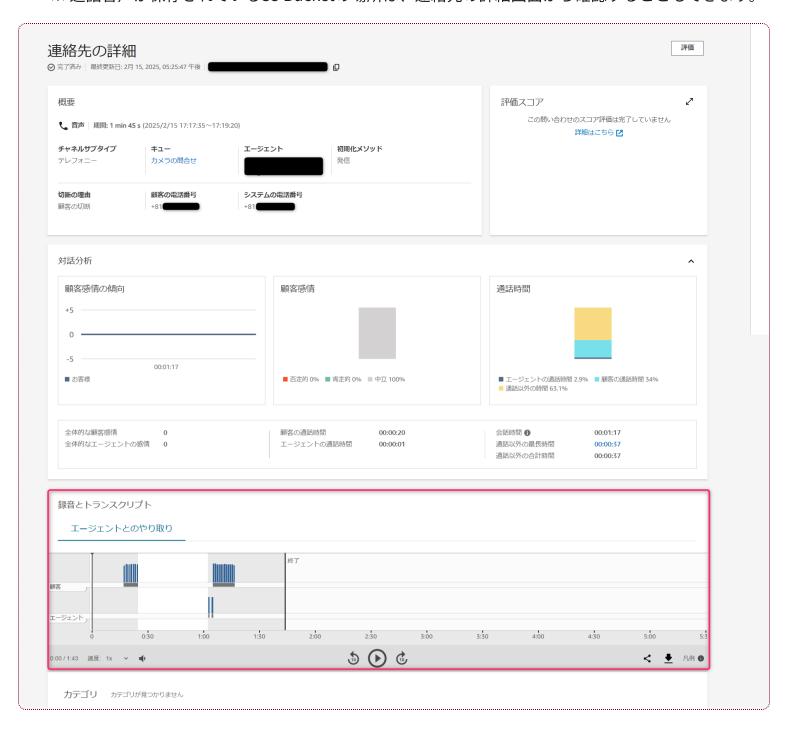
※ ログイン後にAvailableにしていない、もしくは一定時間Offlineが継続しているエージェントは、リアルタイムメトリクス一覧に表示されません。



録音した通話音声をあとから確認する

問い合わせフローの 通話記録動作の設定 で録音を有効化している場合、以下の方法から通話後録音内容を確認できます。

- 1. コンタクトの検索 検索結果一覧 → コンタクトを検索 を参照
- 2. コンタクトの検索 検索結果詳細 → 連絡先の詳細 を参照
- 3. Amazon Connect 設定で録音ファイル保存先として指定しているS3 Bucket
 - ※ 通話音声が保存されているS3 Bucketの場所は、連絡先の詳細画面から確認することもできます。



2.設定編

主に管理者が使用する各種設定機能についてご説明します。

2-1.ユーザー管理

Amazon Connect のユーザー管理についてご説明します。

ユーザーを追加する

以下の登録方法を選択可能です。

- 画面上で作成
- アップロード (CSVテンプレートを仕様)

ユーザー > ユーザー管理 からユーザー管理画面を開きます。



ユーザー管理画面から新しいユーザーの追加を押下します。



項目	説明
名	表示項目(ソフトフォンで表示される)
姓	表示項目
ログイン名	ログイン時に使用 設定後は変更不可
Eメールアドレス	パスワードリセット時に利用
パスワード	ログイン時に使用
ルーティングプロフ ァイル	エージェントとキューの関連付け設定 エージェントに1つだけ紐づけ可能 単一のルーティングプロファイルに複数のキューを登録し、対応するキューの 優先順位付けが可能
セキュリティプロフ ァイル	エージェントの権限設定 Amazon Connect ヘログインした際にアクセスできるリソースを管理可能 エージェントに複数紐づけ可能
電話の種類	ソフトフォン/デスクフォン から対応方法を選択可能
電話番号	電話の種類を「デスクフォン」にした場合に設定 ダイヤルイン着信が可能な電話番号を指定
通話の自動着信	電話の種類を「ソフトフォン」にした場合に選択 ON:着信時に自動的に応答します OFF:エージェントが自分でソフトフォン上の応答ボタンを押して応答することになります

項目	説明
通話作業後 (ACW) タ イムアウト	デフォルトは0 通話が完了した後、自動的にACW(After Call Work/After Contact Work)のス テータスになる
	0以外の値(秒数)を設定すると、指定した秒数を過ぎた際に自動的に Available(受付可能)ステータスに切り替わります

- 必須項目の入力がされて、各項目の入力形式が条件を満たしている場合のみ [保存] ボタンがアクティブになります
- パスワードは8文字以上で、大文字、小文字、数字が含まれている必要があります
- エラーメッセージが表示されないのでお気をつけください

ユーザーを削除する

ユーザー管理 から ログイン名を選択して 削除 ボタンをクリックしてください。

2-2.ルーティングプロファイル管理

ルーティングプロファイルでは、エージェントが担当するキューを定義します。

キューは複数設定することができ、優先度をつけることができます。

ユーザーのルーティングプロファイルを変更する

ユーザー管理 からログイン名を選択してください。

ルーティングプロファイルを選択する項目があるのでここを変更して保存します。

新しいルーティングプロファイルを定義する

ルーティングプロファイル から 新しいプロファイルを追加 ボタンをクリックしてください。

ルーティングプロファイルのキューを追加・変更・優先順位付けする

キューの追加から複数のキューを関連付けられます。

キューごとに 優先度 や 遅延(秒) を設定できます。

優先度の値は、1~99の重要度の順に設定します。最も低い番号が最高優先度です。

遅延(秒)は、エージェントへの通話のルーティングを試みるまでの時間です。

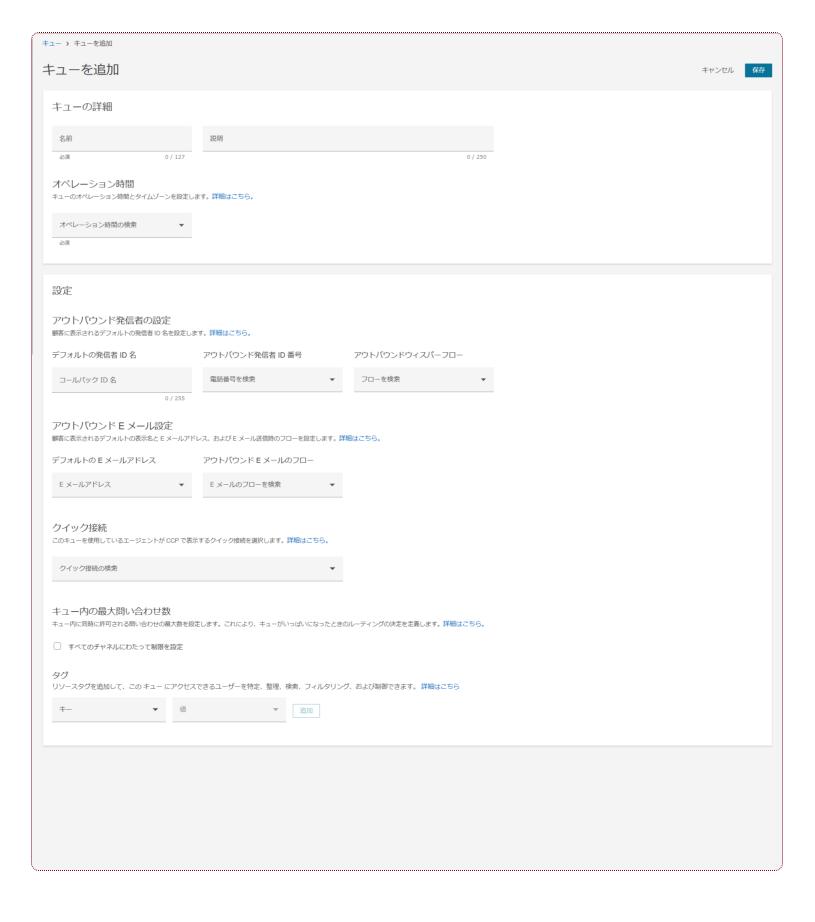
2-4.キュー管理

キューはカスタマーがエージェントと通話する際に入る待ち行列です。

新しいキューを定義する

キューから新しいキューを追加ボタンをクリックしてください。

オペレーション時間は必須選択項目です。



2-4.クイック接続(転送先)管理

Amazon Connect での通話転送設定にはクイック接続機能を使用します。

クイック接続を利用するためには、以下の手順で転送先の設定をする必要があります。

クイック接続 で転送先を登録

転送先は以下から選択可能です。

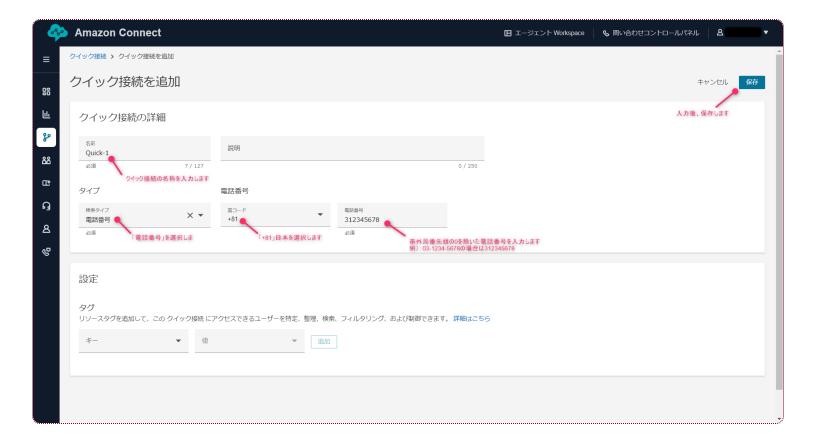
- 1. ユーザー
- 2. キュー
- 3. 電話番号

設定にはタイプ種別に応じて、以下を入力・選択する必要があります。

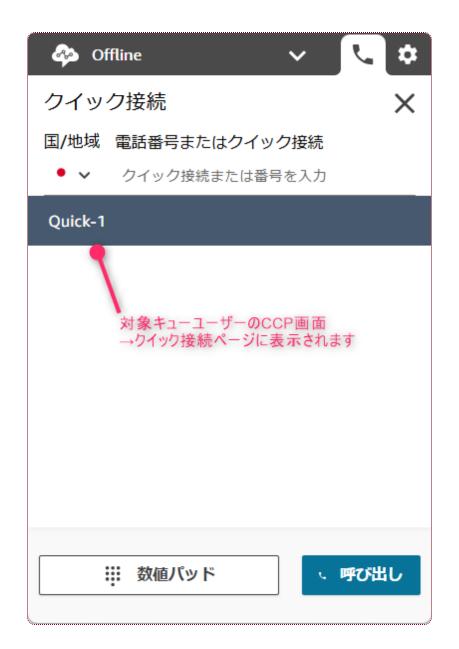
作成したクイック接続設定は名前昇順で表示され、名前で検索することが可能です。

タイプ	送信先	問い合わせフロー	備考
ユーザ	追加済ユー ザー	『エージェントへの転送』 タイプの 問い合わせフロー	通話を転送時のみCCPに表示される
キュー	定義済キュー	『キューへ転送』タイプの 問い合わ せフロー	通話を転送時のみCCPに表示される
電話番号	外線番号		例: 03-1234-5678 (日本) の場合 →国コードへ +81、電話番号へ 312345678 と入力

外部の電話番号へ転送する場合のクイック接続追加画面

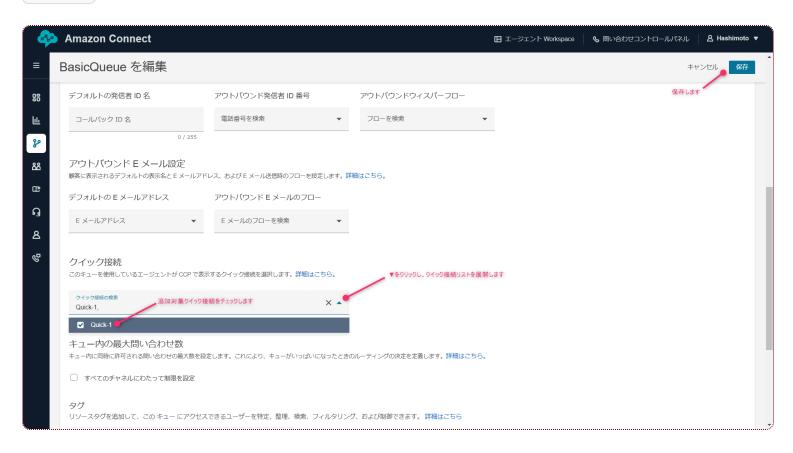


CCP画面の表示を確認





キューに利用可能なクイック接続を登録



2-5.アウトバウンド管理

アウトバウンド(発信)に架電先に表示される番号は、アウトバウンドキューで指定できます。

アウトバウンドの設定方法

- 1. アウトバウンド用のキューを作成する… アウトバウンド発信者 ID 番号 を設定する
- 2. ルーティングプロファイルを設定する… デフォルトのアウトバウンドキュー を設定する
- 3. ルーティングプロファイルに対応するユーザーはアウトバウンド可能となる
- ※ アウトバウンドにフローを組み込む設定も可能です。

2-6.電話番号管理

電話番号は Amazon Connect の画面上から取得できます。(ただし日本、香港の電話番号は除く)

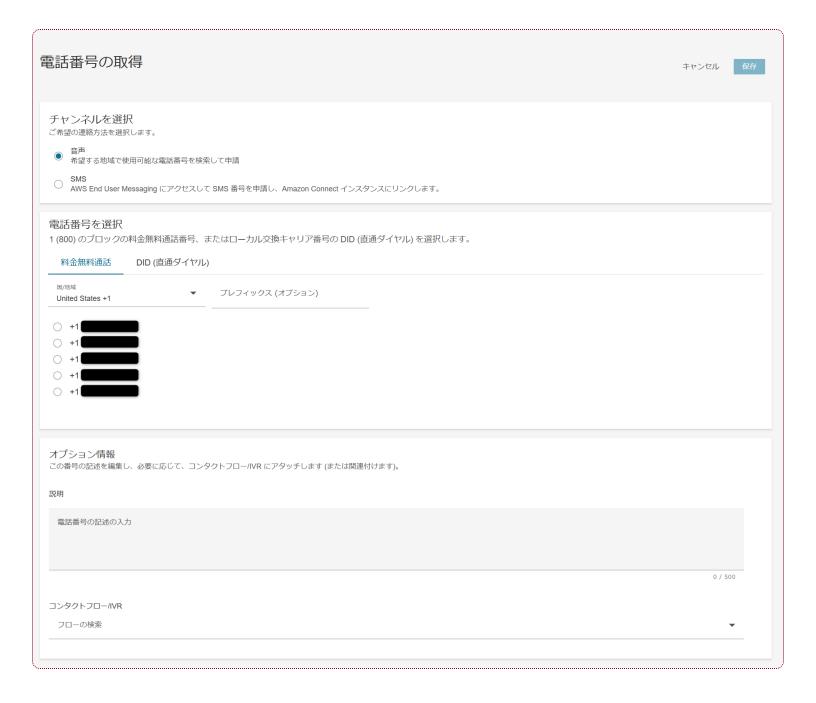
この電話番号は1日毎に課金されます。

電話番号はいつでもリリース(利用停止)が可能ですが、一度リリースした電話番号と同じ番号を取得できる保証はありません。

新しい電話番号を取得する ※この方法では日本の電話番号は取得できません

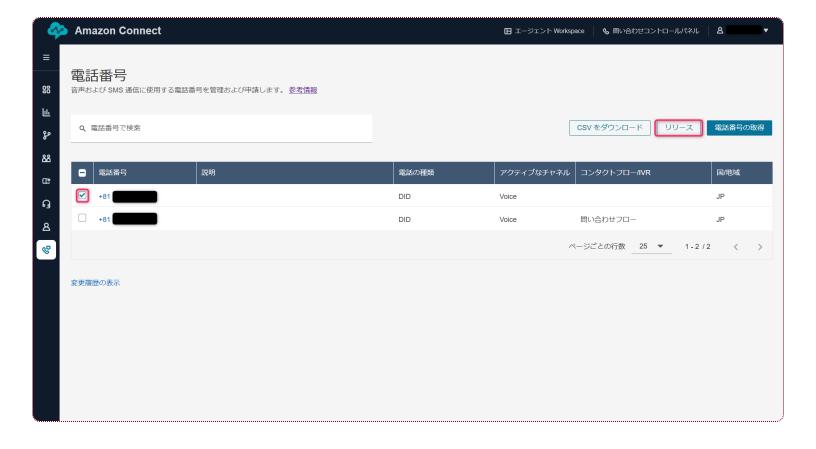
- 1. 電話番号の管理 から 電話番号の取得 をクリックします
- 2. 料金無料通話 / DID (直通ダイヤル) を選択します
- 3. 国を選択します
- 4. 利用可能な電話番号が複数選択されるので、希望の電話番号をクリックします
- 5. 電話番号の説明を入力します (任意)
- 6. この電話番号にかかってきたときに対応する「問い合わせフロー」を設定します

※ 利用可能な電話番号が表示されない場合や、日本の電話番号を取得する場合は、以下の手順で電話番号の取得申請を実施します。



電話番号をリリースする

電話番号の管理でリリースする電話番号にチェックを入れて「リリース」をクリックしてください。



電話番号の取得申請を行う

Amazon Connect で電話番号を取得するためには、書類の提出が必要になります。

提出書類

- 番号が付与されている都市と一致する住所を含む書類 (例:公益法人、法務省からの企業登録証明書、国または地方の税務申告書、社会保障支払の領収書な どの政府機関への支払い済み領収書、銀行明細書、6か月以内の光熱費請求書、など)
- 代表者の有効な身分証明書(個人番号カード、パスポート、運転免許証など)
- 代表者と該当企業の関連を証明できる書類(名刺、社員証のコピーなど)

申請手順

- 1. 必要な書類を準備します
- 2. サーバーワークス サポートセンター でサポートチケットを起票します
- 3. サポートチケットに記載されているS3 アップローダーに書類をアップロードします
- 4. 電話番号が取得できていることを確認します

2-7.営業時間管理

電話受付可能な時間は、オペレーション時間で定義します。

Amazon Connect を使用し、キューのオペレーション時間とタイムゾーンを設定する

オペレーション時間の設定

オペレーション時間はキューにアタッチされるか、問い合わせフローで直接参照されます。

曜日ごとに、開始/終了時間を定義可能です。

オペレーション時間の判定は以下の仕様となっており、既にエージェントと会話中の通話が強制的に切断 されることはありません。

オペレーション時間判定の仕様について

オペレーション時間の判定の仕様は以下のようになっています。

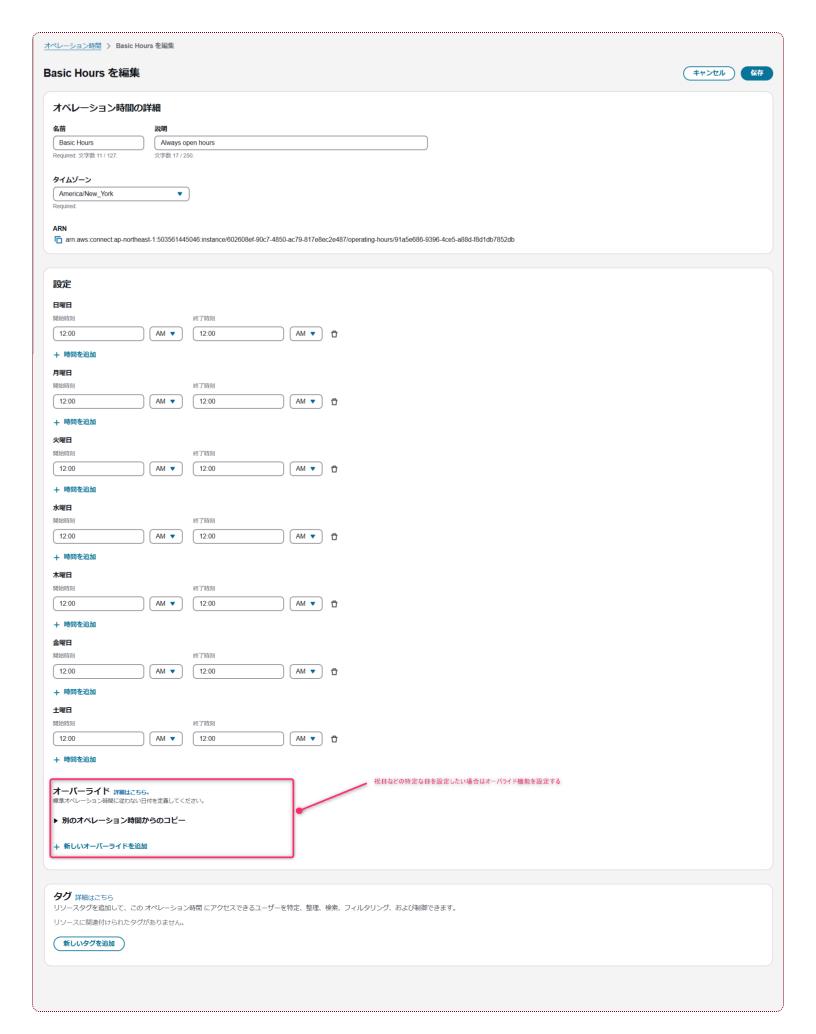
- 判定はコンタクトフローの「オペレーション時間を確認する」ブロックで行われます
- 当該ブロックがない場合は判定されません
- 判定は当該ブロックを通過した時刻で判定されます(通話開始時刻ではありません)
- 開始時間の0秒~終了時間の直前までが営業時間として扱われます。

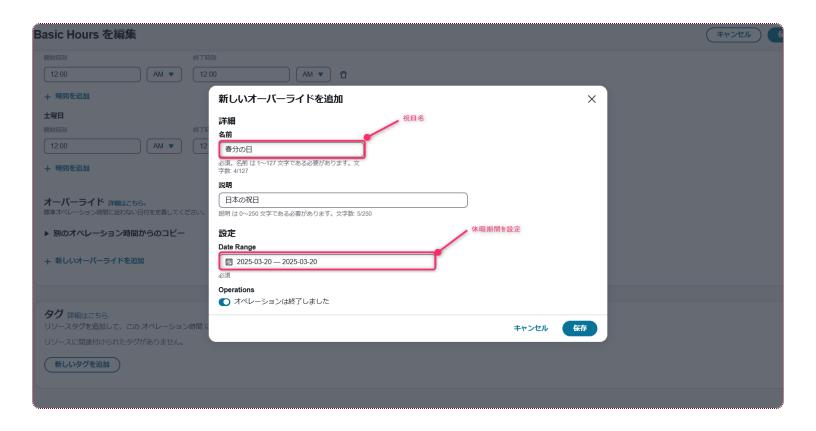
(例)10:00~19:00のオペレーション時間設定の場合は以下の判定となります

判定時間	判定結果
「オペレーション時間を確認する」ブロックを09:59台に通過	営業時間外
「オペレーション時間を確認する」ブロックを10:00台に通過	営業時間内
「オペレーション時間を確認する」ブロックを18:59台に通過	営業時間内
「オペレーション時間を確認する」ブロックを19:00台に通過	営業時間外

オペレーション時間のオーバーライド(祝日設定)

祝日設定など、 を使用します。	特定の日だけを対象に個別定義を行う場合は、	オペレーション時間のオーバーライド機能





オーバーライド設定の仕様について

オーバーライド設定の仕様は以下のようになっています。

- 一つのオペレーション時間に登録できるオーバーライド(祝日情報)は50件までです
- 登録件数が50件を超える場合は過去のオーバーライド設定を削除してください
- 指定日を過ぎてもオーバーライド設定は自動削除されません
- オーバーライド設定は他のオペレーション時間からコピーできますが、期日を過ぎたオーバーライド 設定をコピーすると保存時にエラーになります

2-8.緊急時の問い合わせフロー変更方法

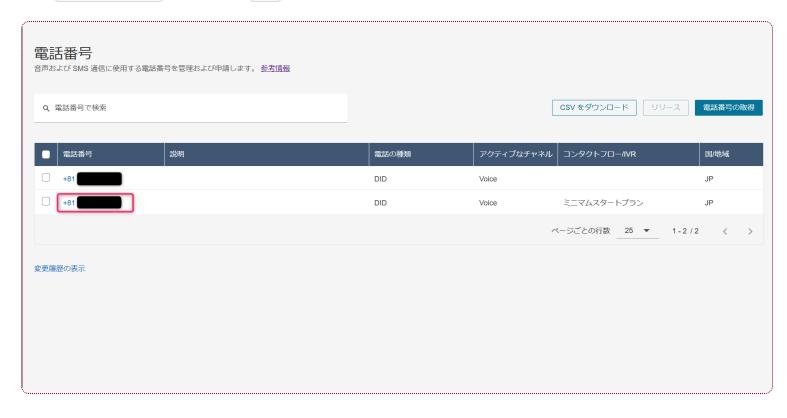
天災や事故など、止む終えない事情が生じた場合、案内メッセージを発話した後にお電話を切断することが可能です。

【留意事項】

下記に記載する手動設定は、設定完了後に即時反映されます。手動設定される日時やタイミングは事前に十分なご検討されることをおすすめします。

設定方法

- 1. ルーティング → 電話番号 ページを開きます
- 2. 該当の電話番号(テキストリンク)を押下し、電話番号の編集 ページを開きます
- 3. 電話番号の編集 ページ内の 問い合わせフロー/IVR プルダウンの中から ミニマムスタートプラン (緊急用) を選択します
- 4. 電話番号の編集 ページ内の保存 ボタンを押下し、設定を反映します





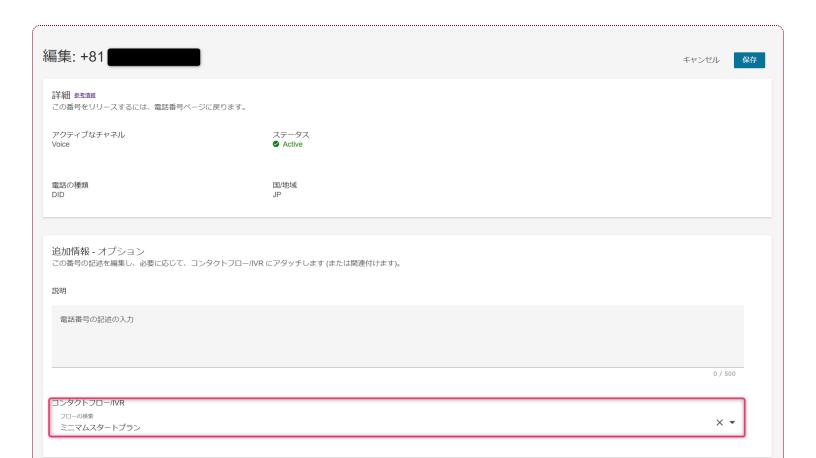


アクティブなチャネル	ステータス	
Pord フ&アヤイツレ Voice	✓ Active	
電話の種類 DID	国/地域 JP	
	コンタクトフロー/IVR にアタッチします (または関連付けます)。	
追加情報 - オプション この番号の記述を編集し、必要に応じて、 説明	コンタクトフロー/IVR にアタッチします (または関連付けます)。	
この番号の記述を編集し、必要に応じて、	コンタクトフロー/IVR にアタッチします (または関連付けます)。	
この番号の記述を編集し、必要に応じて、 説明	コンタクトフロー/IVR にアタッチします (または関連付けます)。	0 / 500

通常時に戻す場合

通常の問い合わせフローに戻す場合は 問い合わせフロー/IVR プルダウンの中から元のコンタクトフローを選択し、保存 ボタンを押下し、設定を反映します。

(下図ではミニマムスタートプランに変更しています)



3.弊社へのお問い合わせについて

弊社サポートへのお問い合わせ方法についてご説明します。

↑ → Amazon Connect スタートガイド 管理者版 → 3.弊社へのお問い合わせについて →

3-1.サポートサイトについて

3-1.サポートサイトについて

請求代行サービスをご利用のお客様は、サーバーワークス マイスターズポータルより弊社サポートセンターにお問い合わせいただけます。

詳細は以下のWebページをご覧ください。

サポートセンターに問い合わせる

3-2.Backlogについて

プロジェクト期間終了後はBacklogでのお問い合わせは受け付けておりません。

情報削除のご依頼がない限り、参照できる環境は維持させていただきます。

3-3.プロジェクト終了後の AWS サポート範囲について

3-3.プロジェクト終了後の AWS サポート範囲について

プロジェクト終了後はAWSサポートのご利用が可能です。

AWSサポートの範囲は以下をご確認ください。

Amazon Connect の AWS サポートの範囲について

サポート範囲内

以下は標準サポートとして対応可能です。

- 不具合の調査
 - Amazon Connect サービス稼働状況に関するお問い合わせ
 - CCPを利用した電話応対の不具合や意図しない動作の調査
 - AWSが提供するCTI連携ツールに関する不具合の問い合わせ 対象:Salesforce/Zendesk
- AWSへの申請
 - サービスの上限緩和申請
 - 電話番号の取得
- Amazon Connect 利用に関するお問い合わせ
 - 電話番号取得に関する問題
 - 取得可能な電話番号がない場合 等
 - ドキュメントで解決しないサービス仕様の確認

サポート範囲外

下記は標準サポート範囲外となり、導入支援のサービスとして個別対応(お見積り)となります。

- 貴社で設定をしたIVRおよび連携するLambdaの内容に関する問い合わせ(AWS側に不具合の可能性がある場合は除外)
- 導入設計や具体的な実装方法に関するお問い合わせ(Lambdaを利用した開発も含む)
- 運用設計に関するお問い合わせ

弊社にてインテグレーションを行った案件に限り、下記の対応も可能です。

- 納品時の設定項目に関する問い合わせ
- 納品時のIVRおよび連携するLambdaの内容に関する問い合わせ

調査のための情報取得依頼について

不具合の調査では、利用環境(AWS/クライアント)の情報を提出していただく場合があります。

自社にてAWSの情報取得が難しい場合は、有償サポート契約をご検討ください。

調査で取得を依頼する情報の例

AWS	クライアント
CloudWatch Logs	CCPログ
録音データ	HARファイル
エクスポートした問い合わせフロー	TAKノアイル

4.参考資料

AWS提供資料

資料名称	目的	リンク
管理者ガイド	Amazon Connectのすべての機能を説明する公式ドキュメント	Amazon Connect 管理者ガ イド
APIリファレン ス	APIを利用した開発を行う際に参照するドキュメント	Amazon Connect API Reference

サーバーワークス提供参考動画

Amazon Connect関連のすべての動画は再生リスト 動画でわかる Amazon Connect から確認できます。

内容	URL
Amazon Connect概要	https://youtu.be/rVZ2rGEfkSY
ソフトフォン使い方	https://youtu.be/BU_f_RDdovo
クイック接続の設定	https://youtu.be/4E7ZQlZd8RU
問い合わせフロー設定~CCP受電	https://youtu.be/DKupl3moFdQ
スキルベースルーティング	https://youtu.be/zDDJsqy_ays
電話番号追加方法	https://youtu.be/TyDJsBaA4bM

ご利用環境について

Amazon Connect のご利用環境についてご説明します。

対応ブラウザ

Amazon Connect では通信のため WebRTC が必要です。以下のブラウザがサポートされています。

ブラウザ	バージョン	バージョンを確認する方法
Google Chrome	最新の3つのバージョン	Chrome を起動して、アドレスバーに「chrome://version」と入力します。バージョンは結果の上部にある [Google Chrome] フィールドに表示されます。サードパーティー Cookie の Google Chrome 更新 を参照してください。
Microsoft Edge Chromium	最新の3つのバージョン	Edge を開きます。メニューで [Help and feedback] (ヘルプとフィードバック) を選択し、[About Microsoft Edge] (Microsoft Edge について) を選択します。バージョン番号は [About] (詳細) セクションに記載されています。
Mozilla Firefox	最新の3つのバージョン	Firefox を開きます。メニューで [ヘルプ] アイコンを 選択し、 [Firefox について] を選択します。バージョ ン番号は、Firefox 名の下に表示されます。 Firefox の 拡張追跡保護の更新 を参照してください。
Mozilla Firefox ESR	バージョンは、Firefox の <mark>販売 終了日</mark> までサポートされま す。詳細については、 「Firefox ESR release calendar」を参照してくださ い。	Firefox を開きます。メニューで [ヘルプ] アイコンを 選択し、 [Firefox について] を選択します。バージョ ン番号は、Firefox 名の下に表示されます。

ヘッドセットについて

ヘッドセットまたはマイク付きイヤホンを準備してください。

指定機器はありません。



変更履歴

Version	備考
2025/2/28	Webページ版初版公開